

国語

● 今年度の出題形式と講評

本番の入試にのっとり、大問三題形式（説明文・小説・知識問題）の出題としました。プレテストということもあり全体として素直な出題を心がけ、傍線の前後を見れば解答のヒントが見つかるような問題を多く出題しました。本番の入試ではもう少し難易度があがると考えておいてください。また、今回は大問^㉓において、新しい形式の問題を一部とりいれました。文中の誤字を抜き出し、正しい字に書き改める問題です。本番でもこの形式で出題しますので、対策をしておいてください。

採点を終えて言えるのは、漢字の書き取りの問題の出来が例年以上に悪く、乱雑な字の答案が目立ったことです。トメ・ハネの雑なものや字形のくずれてしまっているもの、続け字で書いたものなどが多く見られました。減点の対象としましたので、もう少しいねいに字を書くように心がけてください。また、書き取り問題以外でも雑で読めない字があり減点しました。これらの減点は防げるものなので、日頃から字をていねいに書く習慣をつけてください。

全体としてはよくできている答案が多かったですが、ときどき、すっかり本文の内容を誤解していると思われる答案が見られました。原則として、本文に書かれていることしか問いませんので本文をよく読んで答えるようにしてください。特に記述問題では、①本文の中で答えになりそうな部分を見つける、②問いで求められている答え方と字数に合わせてまとめる、という手順を意識して解答するようにしてください。

● 解説

^㉑ 説明文『物語ること、生きること』 上橋菜穂子 著 瀧晴巳 構成・文

物語を書くことは、想像力をふくらませることである。それは、ただ空想することとはちがって、目標に向かって具体的に考えていくことである。最近「一言主」が多いけれども、本当は伝えなかったことがあるはずで、それを言葉にしようと努力することが大切である。そのためにも物語ることの大切さを実感し、大変ではあるけれど、一步一步進んでいくべきだという筆者のメッセージを読み取って欲しい。

問一 空所補充

前後をていねいに読めば、それほど迷わなかったはずですが、解答が逆になっているものがありました。Aの前に書かれているのは、物語を書く上で初心者之苦労、Aの後に書かれているのは、プロの作家ができることであり、対照的な内容になっています。よって解答は「エ」。Bの前には物語を書き直すとききる良いことが書かれています。Bの後にはその直すことが嫌いではないという内容が来ています。つまり、「良いことがあるから、嫌いではない」という関係になっています。よって解答は「ア」。配点は2点×2。

問二 内容説明

傍線部の直後から三行分をふまえると、「興味があるものを広げること」「最初から最後まで書きおえること」の二つが勧められていると分かります。よくできていました。解答は「ウ」。配点は4点。

問三 内容説明

傍線部をふくむ一文をしっかり読み直せば、「それがあるかどうかは、～わかります」とありますので、「それがあるかどうか」の指示内容をはっきりさせればよいことが分かります。直前の12行目に「それ」の指示内容として「自分だけの道筋」が発見できますので、「自分だけの道筋があるかどうかということ」という内容が正解になります。よくできていましたが、オを選んだ人がいました。選択肢の「自分だけの道筋」という単語しか見ていなかったようです。主語述語の関係を確認して、文として正しい内容かどうかよく考えましょう。解答は「エ」。配点は4点。

問四 比喩問題（抜き出し）

傍線部の作業を「何に」たとえているかを本文中から探します。25行目に「何度も、何度も、繰り返し直しています」とあり、その次の行に「その作業は、考古学者が埋もれていた化石を見つけだすことに似ています」とあります。「新しい芽」を含む箇所を書いた答案がありましたが、これは直した結果生まれてくる新しい展開のことを表している上に、字数制限にも合いません。また、正しい箇所を発見できているのに、漢字の写しまちがいで減点された答案が多く見られました。少しの注意で失点を防げたはずですから十分に注意しましょう。解答は、「考古学者が埋もれていた化石を見つけだすこと」（21字）。配点は6点。

問五 内容説明

傍線部の内容を「物語を書くこと」を主語として詳しく説明しているのが、直前の41・42行目です。この部分を「伝えきれないもの」の内容説明になるようにまとめましょう。答案作成のために注目した部分は正しいものの、問題文を正確に読めていないようで、文末が「～伝えるということ。」のような誤答が見られ、2点減点しました。さらに、句点が抜けているなどの不備も見られ減点しました。解答は、「ひと言で言えなかったりうまく言葉にできなかったりして捨ててしまったけれども、本当は伝えなかった考えや気持ち。」。配点は10点。

問六 内容説明

傍線部を含む一文をしっかり読み直しましょう。「その子が何を見て、何を感じているかが、～最初の地図になるのです」という一文です。ですから、解答には「その子が見たものや、感じたこと」という内容が必要です。正解は「イ」。配点は5点。

問七 内容説明

設問は、「子どものころの『あの思い』」の内容を問うているので、作者の子どものころの話が書かれている58行目からに注目します。「夢がかなって、私は作家になることができました」とあることから、「作家になりたいという思い」を作者が持っていたことが分かります。「作家になることという夢」という58行目を抜き出した答案が多く見られましたが、文末表現は「～思い」になるべき問いなので不適切です。解答は、「作家になりたいという思い。」。配点は7点。

問八 内容合致（本文内容把握）

適当でないものを選びます。よくできていました。本文に書かれていないのは「オ」。配点は5点。

^㉒ 小説『未来の手紙』 柳月美智子 著

主人公のりえは高野さんの悪口を言ったせいで、さっちゃんに悲しい思いをさせてしまった。そのことを祖母のしいちゃんに相談しながら、自分のしてしまったことを反省し、悪口を言うことが自分をおとしめることにつながることを学ぶ。その後、母親との会話の中で、笑いや大好きが伝染することに気づき、その大切さを知る。登場人物たちの人間関係や心の動きをしっかりとおさえて、読み進めて欲しい。

問一 空所補充

A、Bとも文脈から容易に判断できます。慣用的な表現の学習をしておきましょう。よくできていました。正解はA「イ」、B「オ」。配点は2点×2。

問二 内容説明

傍線部の直後を読めば、「しょっちゅう誰かの悪口を言っているかもしれない」「わたしは頭を抱えた」とありますので、悪口を言っていたかもしれないことに気づいて反省していることが分かります。よくできていました。正解は「ウ」。配点は4点。

問三 抜き出し問題

傍線部の直前を読めば、「誰かが言うと、今度は言われたほうが悪口言うの。そうやって、どんどん広がっていく」という内容が、「始末が悪い」と分かります。あとは、これと同じことを七字で書いてある箇所を探します。すると10行目に「悪口は伝染する」が見つかります。よくできていましたが、「悪」や「染」

の書きまちがい、「悪口が」「悪口も」などの抜き出しのミスが多く見られました。正解は「悪口は伝染する」（ということ。）。配点は4点。

問四 内容説明

のりえが反省した内容は、直前の10・11行目から考えます。「私がチクらなかつたら～済んだはずだ」と書かれているように、実際は反対のことをしてしまっており、そのことをのりえは反省しているのです。したがって、「わたしがチクったせいで、ますみちゃんも高野さんの悪口を言い、さっちゃんに悲しい思いをさせたこと」が反省している内容となります。さらに、「チクる」と表現されていますが、本文の1行目のように、のりえが高野さんの悪口を言ったという具体的な内容に言い換えて説明しましょう。そうすると、①のりえが高野さんの悪口を言ったこと、②のりえの発言によってますみちゃんが高野さんの悪口を言ってしまったこと、③さっちゃんに悲しい思いをさせたこと、の三つの要素が考えられます。間違いとして、本文の内容を整理しないでそのまま抜き出しているものが多かったです。「チクらなかつたら」という仮定の形で解答を書いても、「反省」の説明にはなりません。また、「チクる」という表現も説明する上では不適切ですので、言い換える必要があります。解答は、「のりえが高野さんの悪口を言ったせいで、ますみちゃんも高野さんの悪口を言い、さっちゃんに悲しい思いをさせたこと。」。配点は10点。

問五 内容説明

(1) 心情説明

傍線部直後の42行目に注目すれば、「悲しい気持ちや頭に來たこと」＝「悲しみや怒り」という内容が見つかります。よくできていました。正解は「ア」。配点は4点。

(2) 心情変化

(1)に続けて、そのまま42行目を読めば、「ノートに書くこと」を通して、その心情がどのように変化したかが説明されています。「悲しみや怒りがすうっとノートに吸収され」「晴れ晴れとした気分」になり、「あの女の子たちが少し気の毒に思えてきた」とあります。正解は「エ」。配点は4点。

問六 理由説明

まず、「あら? という顔で見た」ときの「お母さん」の気持ちはどのようなものでしょうか。それは「意外な驚き」であると説明する必要があります。ですから、まず解答としては、「お母さんは意外に思ったから、あら? という顔で見た」となります。では、何を意外に思ったのでしょうか。傍線部の直前をみると、「(のりえは) いつもだったら『うるさいなあ』と返すところだけど、わたしは素直に『ごめんね』と謝った」という内容が見つかります。あとはこの内容を加えて字数内にまとめます。ただし、「うるさいなあ」などはセリフですし会話体ですから、説明にふさわしい表現になおす必要があります。本文の内容を使って解答を書くのが原則ですが、書き言葉に直して使うことが必要です。あまりできていませんでした。特に「意外に思った」の部分に関してはほとんどできていませんでした。解答は「いつもは言い返してくるのりえが素直に謝ったことを、意外に思ったから。」。配点は7点。

問七 抜き出し問題

何が伝染するのかを文脈に合うように、本文中から探す問題です。Cは直前に「たくさん笑った」とあるから「笑い」と入れるべきです。Dはこれも直前から伝染したものは「大好き」とすぐに分かります。できている人が多かったです。抜き出さないで、自分で勝手に解答を考えた答案が見られました。正解はC「笑い」、D「大好き」。配点は4点×2。

□ 漢字の読み書き・言葉の意味・熟語

問一 漢字の書き取り

例年に比べてできが悪かったです。①は「試」「食」ともに、ハネが充分でないものが多かったです。また、「主食」など、そもそも傍線部を読みまちがえている答案もあったので注意しましょう。②は「住」を「往」と書く

まちがいが多かったです。漢字を覚える際は、その漢字の意味も合わせて覚えるようにしましょう。③はよくできていましたが、字が雑で×をした答案がみられました。④はハネが充分でない答案が多く見られました。また、「供」と書きまちがえている答案も見られました。⑤は「合」の口の部分に続け字が多く見られました。「流」もハネが甘い答案が見られました。今回は○がついていても、本番の入試では減点される答案はいくつかあります。必ずていねいに書くようにしてください。正解は①「試食」②「住宅」③「転」④「備」⑤「合流」。配点は2点×5。

問二 漢字の読み

全体としてよくできていましたが、雑な答案も多く、ひどいものは減点しました。ひらがなであってもていねいに書くようにしましょう。②は「ちょうばこ」などのまちがいが見られて、差が出た問題になりました。正解は①「ぶんたん」②「じゅうばこ」③「きび」④「む」⑤「してん」。配点は2点×5。

問三 語句の意味問題

よくできていました。②は「ウ」の誤答が多く見られ、③は「エ」の誤答が多く見られました。日頃から意味の分からない言葉は辞書で調べるようにしましょう。正解は①「ア」②「エ」③「ウ」。配点は2点×3。

問四 誤字訂正

今回新しく出題した形式です。「誤った文字を抜き出す問題」です。語句を抜き出す必要はありません。①では「感心」と抜き出した答案や、②では「気象予報師」と抜き出した答案がありましたが、間違っただけを抜き出せば良いです。解答は、①「感→関」②「師→士」。採点は、正誤完答です。配点は2点×2。

算 数

1 各5点×6問=30点

<解答> (1) 29 (2) 2 (3) 10.5 (4) $\frac{1}{6}$ (5) 1 (6) $\frac{3}{7}$

<解説>

(5) $8 \times 0.125 + 16 \times 0.125 + 24 \times 0.125 - 40 \times 0.125 = (8 + 16 + 24 - 40) \times 0.125 = 8 \times 0.125 = 1$

<講評>

(5) のように工夫して計算する問題も練習を積んでおきましょう。

(6) の計算ミスと約分ミスが多くみられましたので、注意して下さい。

2 各5点×6問=30点

<解答> (1) 45 (2) 216 (3) 10 (4) 2000 (5) 196 (6) 4400

<解説>

(1) 多角形の外角の和は360度です。正八角形の1つの外角の大きさは $360 \div 8 = 45$ 度となります。

(2) 12と18の最小公倍数は36です。36の倍数で200にいちばん近い整数は180ではなく、216となります。

(5) $3 \times 3, 4 \times 4, 5 \times 5, 6 \times 6, \dots$ という規則で並んでいます。左から12番目の数は $14 \times 14 = 196$ となります。

<講評>

(1) の問題文をよく読まずに、内角を答えにしていた人が多かったです。注意して下さい。

3 各7点×2問=14点

<解答> (1) 9.87 cm^2 (2) 15.42 cm

<解説>

(1) 斜線部分の面積は、直角三角形の面積から3つのおうぎ形の面積を引けば求めることができます。

3つのおうぎ形の中心角の和は180度ですので、求める面積は

$\frac{1}{2} \times 8 \times 6 - 3 \times 3 \times 3.14 \times \frac{180}{360} = 24 - 14.13 = 9.87 \text{ cm}^2$ となります。

(2) 図の直角三角形は、直角をつくる2辺の長さが 6 cm と 8 cm です。これより辺の長さの比が $3:4:5$ の直角三角形とわかります。斜線部分の周囲の長さは

$3 \times 2 \times 3.14 \times \frac{180}{360} + 2 + 4 = 6.28 + 6 = 12.28 \text{ cm}$ となります。

<講評>

(1) で、三角形の内角を 30° 、 60° と間違った決めつけをして、計算している人が多かったです。

4 4点+4点+7点=15点

<解答> (1) 24秒後 (2) 毎秒 24 cm^3 (3) 80秒後

<解説>

(1) $\left(\frac{1}{2} \times 12 \times 8 \times 5\right) \div 10 = 24$ 秒後

(2) 排水口を開けてから52秒後には、ウの部分の水の深さは 10 cm 、それ以外の部分の水の深さは 8 cm となります。1秒間に排水口から出ていく水の量は、

$\left\{12 \times 16 \times 5 + \left(12 \times 16 - \frac{1}{2} \times 12 \times 8\right) \times 2\right\} \div 52 = 1248 \div 52 = 24 \text{ cm}^3$

(3) 排水口から水が出なくなったとき、アとエの部分の水の深さは 5 cm 、イの部分の水の深さは 0 cm 、ウの部分の

水の深さは 10 cm となります。

排水口を開けてから水が出なくなるまでにかかる時間は

$\left(12 \times 16 \times 15 - \frac{1}{2} \times 12 \times 16 \times 5 - \frac{1}{2} \times 12 \times 8 \times 10\right) \div 24 = 1920 \div 24 = 80$ 秒

<講評>

(1) の計算ミスが目立ちました。

全体的に文章の読み取りができていない人が多いです。

5 各4点×4問=16点

<解答> (1) 分速 60 m (2) 1620 m (3) 分速 75 m (4) 9回目

<解説>

(1) 文章から花子さんは 180 m を3分で歩いていることがわかります。

(2) 花子さんで考えると、2人がすれ違うのにかかる時間が12分であることから、 $12 + 12 + 3 = 27$ 分で湖の周りを1周していることがわかります。湖の周りの距離は、 $60 \times 27 = 1620 \text{ m}$ となります。

(3) 1周 1620 m の湖の周りを反対方向に歩いた時、12分後にすれ違ったこととなります。

$(1620 - 60 \times 12) \div 12 = 75$ より、太郎君の歩く速さは分速 75 m となります。

(4) 花子さんで考えると、12分毎にすれ違い、27分で1周するので、P地点ですれ違うのは最小公倍数を考えると、108分後だとわかります。このことより $108 \div 12 = 9$ 回目のすれ違いのときとわかります。

<講評>

(1) は皆さんよくできていました。

(2) 以降はほとんどできていませんでした。よく出題される速さの問題なので、しっかり練習してください。

6 各3点×5問=15点

<解答> 1番：Bさん、2番：Cさん、3番：Aさん、4番：Dさん、5番：Eさん

<解説>

①③④の条件より、2人グループが前で、3人グループが後ろであることがわかります。さらにCさんは2人グループの最後、Eさんは3人グループの最後、Dさんは3人グループの真ん中だとわかります。

②の条件より、Aさんは3人グループの先頭だとわかります。

以上より、Bさんは2人グループの先頭だとわかります。

<講評>

皆さんとてもよくできていました。毎年出題している推論の問題ですので、過去問も含めてしっかりと練習しておいてください。

理科

● 今年度の出題形式と講評

出題形式としては、物理分野、化学分野が大問 2 題ずつ、生物分野、地学分野が大問 1 題ずつの計 6 題です。(例年、この形式で出題しています。) どの分野に関しても、基本的な事項についての出題ですので、小学校で習った理科をしっかりと復習しておくことが大切です。

4 のよう解度についての問題はできている人とそうでない人に分かれました。毎年のように出題しているこの分野の対策をしておきましょう。

対策 過去に出題した問題を必ず解きましょう。本校の入試問題は、基礎、基本問題を中心にしています。入試用の参考書、問題集など基礎、基本問題を中心にしっかりと勉強してきて下さい。

● 解答と解説

1 【配点】 2点×5 = 10点
 【解答】 問1 3 問2 20秒 問3 4倍 問4 (1) C (2) 24秒
 【解説】 問1 表1より振り子の往復時間は高さに関係ないので③となります。
 問2 問1よりおもりの高さは往復時間に関係ないので、表2より20秒となります。
 問3 表2より、糸の長さが(100cm、50cm)(80cm、20cm)(60cm、15cm)のときの往復時間を比べると、全て糸の長さが4倍になると、往復時間が2倍になっているのが分かります。これより、答えは4倍となります。
 問4 (1) 空気の抵抗や摩擦などを考えない場合、振り子は必ず同じ高さまで上がります。
 (2) くぎに触れるまでは200cmの振り子、くぎに触れている場合は100cmの長さの振り子と考えます。200cmの振り子は表2の50cmの振り子から10往復するのに28秒かかるので、 $28 \div 2 + 20 \div 2 = 24$ 秒となります。

2 【配点】 2点×5 = 10点
 【解答】 問1 3 問2 1 問3 1/2 問4 1 問5 C
 【解説】 問1 ソケットにはいつている豆電球からは導線が2本でているので電池に接続する場合、電池の+極と一極にそれぞれ接続すれば豆電球は点灯しますが、ソケットを外したときに、どこどこを接続すれば、豆電球が点灯するかを問う問題です。

次の問2～問5は 豆電球に流れる電流 = $\frac{\text{直列につないだ電池の数}}{\text{直列につないだ豆電球の数}}$ で計算します。

今回の出題では電池の数はすべて個になっています。
 問2 (ア) 電池の数=1、豆電球の数=1 なので、流れる電流は1となります。
 (イ)の(A)を流れる電流は電池の数=1、豆電球の数=1 なので1となります。
 問3 (ウ)の(B)を流れる電流は電池の数=1、豆電球の数=2 なので1/2となります。
 問4 (エ)の(C)を流れる電流は電池の数=1、豆電球の数=1 なので1となります。
 問5 (B)と(C)では(C)の方が多くの電流が流れているので、(C)の方が明るくなります。

3 【配点】 2点×6 = 12点
 【解答】 問1 二酸化炭素 問2 黄色 問3 赤色 問4 アルカリ性
 問5 石灰水 問6 うすい塩酸
 【解説】 この問題で登場した水よう液の性質は下の表のとおりです。

	炭酸水	うすい塩酸	水酸化ナトリウム水よう液	重そう水	食塩水
水よう液の液性	酸性	酸性	アルカリ性	アルカリ性	中性
緑色の BTB 溶液を入れたとき	黄色になる	黄色になる	青色になる	青色になる	緑色のまま
青色リトマス紙	赤色になる	赤色になる	変化なし	変化なし	変化なし
赤色リトマス紙	変化なし	変化なし	青色になる	青色になる	変化なし
加熱すると発生する気体	二酸化炭素	塩化水素	発生しない	二酸化炭素	発生しない
水を蒸発させると	何も残らない	何も残らない	固体が残る	固体が残る	固体が残る

4 【配点】 問1、問2 (名前 1点 + 重さ 2点) × 2 + 問3～問5 3点×3 = 15点
 【解答】 問1 名前 さとう 重さ 204g 問2 名前 ミョウバン 重さ 107.3g
 問3 60% 問6 8.2g 問7 25g
 【解説】 問1 表の数値が大きいと、たくさんとけ、小さいとあまりとけませんので、最もたくさん溶けるのは204gとける“さとう”です。
 問2 表をみると最もとけにくいのが、ミョウバンです。150gの水にミョウバンは

$$24.8 \times \frac{150}{100} = 37.2\text{g}$$

とけます。ミョウバンのとけ残りは $100 - 37.2 = 62.8\text{g}$ です。

$$150\text{gの水に食塩は } 37.0 \times \frac{150}{100} = 55.5\text{g}$$

とけます。食塩のとけ残りは $100 - 55.5 = 44.5\text{g}$ です。

さとうやXは150gの水にすべてとけるので、とけ残りはありません。とけ残りの重さはミョウバンの67.2gと食塩の44.5gの合計ですので $62.8 + 44.5 = 107.3\text{g}$ と計算できます。

$$\text{問3 水よう液の濃度 (\%)} = \frac{\text{とけているXの重さ(g)}}{\text{水溶液の重さ(g)}} \times 100 = \frac{150}{100+150} \times 100 = 60$$

60%と計算できます。

$$\text{問4 } 20^\circ\text{Cの水 } 200\text{gにミョウバンは } 5.9 \times 2 = 11.8\text{g}$$

とけますので、再結晶するのは $20 - 11.8 = 8.2\text{g}$ です

$$\text{問5 この問題では、水が } 50\text{g蒸発していますので、そこにとけていたXが、とけきれなくなり、再結晶すると考えます。つまり } 50 \times \frac{50}{100} = 25\text{g}$$

が再結晶します。

5 【配点】 3点×6 = 18点
 【解答】 問1 ア 問2 イ 問3 イ 問4 150倍 問5 エ 問6 ウ
 【解説】 問1 接眼レンズを取り付けたあとに、対物レンズを取り付けます。
 問2 プレパラートに鏡筒が当たらないように、初めにプレパラートと鏡筒を最も近づけておき、徐々にプレパラートと鏡筒を離しながらピントを合わせます。
 問3 けんび鏡では上下左右が逆にうつります。動かしたい方向と逆の方向にプレパラートを動かして、視野の中央にもっていきます。
 問4 $15 \times 10 = 150$ (倍)
 問5 けんび鏡の倍率を上げると、視野は暗くなり、見える範囲はせまくなります。
 問6 道管と師管の束がばらばらに並んでいるのは、単子葉類の茎です。(ア)、(イ)、(エ)は、双子葉類です。

6 【配点】 3点×5 = 15点
 【解答】 問1 エ 問2 ア 問3 (1) 運ばん作用 (2) イ (3) イ
 【解説】 問1 赤道付近で発生した台風が北上し、日本に最も上陸するのは、7～10月で、日本を通過すると、勢力を弱め、温帯低気圧になることが多いです。
 問2 降水量は、直径20cmの円筒形の容器に雨などの降水を貯めたときの深さをmmで表します。
 問3 (1) 流水が陸地を削るはたらきを浸食、浸食によってつくられた土砂が流水が運ぶはたらきを運ばん、運ばれてきた土砂が河口付近で積み重なっていくはたらきを堆積といいます
 (2) 運ばんされる途中で土砂は、土砂どうしぶつかりあうことで角がとれて、丸みをおびていきます。
 (3) れき岩：2mm以上の土砂が押し固められてできた岩石。
 砂岩：2mm未満、16分の1mm以上の土砂が押し固められてできた岩石。
 泥岩：16分の1mm未満の土砂が押し固められてできた岩石。
 凝灰岩：火山灰などの火山噴出物が押し固められてできた岩石。
 石灰岩：昔、地球に住んでいた生物の死骸に含まれている石灰成分が押し固められてできた岩石。

社会科解答と解説

(第1問) 32点 問1(ア)、問4、問5、問8、問9、問10、問11は各2点。
問3、問12はそれぞれ2点で計4点。他は1点。

問1(ア) <答:アテネ> 基本問題です。ヨーロッパ諸国の国名とその位置および首都名はしっかりと確認してください。

問1(イ) <答:間接> 国民が代表者を通さずに直接に政治上の決定に参加するのが直接民主制で、選挙によって国民に選ばれた議員が議会を通じて行う政治が間接民主制である。

問2 <答:公衆衛生> 問題文中の「生活保護」は、一般的には「公的扶助」と記されることが多い。社会保障の4つの柱は、すべて答えられるようにしてください。

問3 <答:地方交付税交付金・国庫支出金> 各自治体は、国からのこれらの財源に頼っていて、地方財政の体質の弱さという問題を抱えている。

問4 <答:ウ> 日本を含む東アジアの地球上での裏側は、南アメリカ大陸付近になります。

問5 <答:イ> アルゼンチンは南半球に位置するため、北半球に位置する日本などとは、その季節が逆転します。つまり、アルゼンチンの冬は7月になるので、気温に注目すれば答えはすぐわかります。

問6 <答:NPO> 「非営利団体」という意味の英語の略称です。

問7 <答:イ> 東西文明の十字路とも呼ばれています。2013年の秋には、この海峡に鉄道海底トンネルが開通し、この建設には日本の企業が関わりました。

問8 <答:抑制(高冷地)> 夏に冷涼な地域で冬野菜を栽培するのが抑制栽培で、冬に温暖な地域で夏野菜を栽培するのが促成栽培です。

問9 <答:イ> アは儒教、ウはヒンドゥー教、エは仏教の説明。

問10 <答:サウジアラビア> 基本問題。原油(石油)の生産量の上位3か国は覚えておきましょう。

問11 <答:リアス(式)海岸> この一帯は三陸海岸とよばれ、天然の良港に恵まれる一方で、過去にもたびたび津波の被害を受けてきました。

問12(寒流) <答:千島海流(親潮)> 日本海を南下するのは、リマン海流です。

問12(暖流) <答:日本海流(黒潮)> 日本海を北上するのは、対馬海流です。

問13 <答:エ> 一般的に、水力発電所は山間部に位置しているので、遠く離れた大都市までその電気を送電する必要があります。

問14 <答:イ> 「もも」の生産が多いことから福島県と判断することができます。

問15 <答:ウ> 順に、エ→イ→ア→カーオです。

問16 <答:ア> 歴史的な出来事は西暦と元号(明治・大正・昭和)を合わせて確認しておきましょう。

問17 <答:イ> 他の新幹線の路線も含めて、地図帳で確認してください。

問18 <答:特需(朝鮮特需)> これを機に、日本の輸出は急増し、経済が潤いました。

(第2問) 48点 **すべて2点**

問1 <答:大森貝塚> 東京都にある貝塚で、アメリカ人モースによって発見されました。

問2 <答:エ> 成人になった儀式で歯を抜く行為を抜歯といいます。

問3 <答:土偶> 土偶は女性をかたどったと言われています。

問4 <答:屈葬> 縄文時代には死者の手足を折り曲げて埋葬していましたが、弥生時代以降はこの風習はすたれ、手足は伸ばして埋葬するようになります。

問5 <答:卑弥呼> 弥生時代の後期に呪術(おまじない)の力を用いて人々を従えさせていました。

問6 <答:雄略天皇・武> ワカタケル大王が雄略天皇であるという問題は難問でした。またワカタケル大王は中国の歴史書において倭王の武とも書かれています。

問7 <答:須恵器> 弥生時代に使用していた弥生土器の流れで古墳時代に使われた土器が土師器です。それとは別に古墳時代に朝鮮半島から伝来した土器が須恵器です。

問8 <答:蘇我馬子> 蘇我氏と答えた人も多かったですが、人物名を求めているので馬子まで必要です。

問9 <答:法隆寺> 現存最古の木造建築を有するということもあり、世界遺産にも登録されています。

問10 <答:エ> 難しかったと思います。九州北部の兵役義務は防人です。中央(都)の貴族たちが地方に派遣されたのは国司という役職のためです。律令の律は刑法で令は政治にかかわる法律です。

問11 <答:イ> 桓武天皇が派遣した坂上田村麻呂は、蝦夷の討伐に大きな成果をあげました。

問12 <答:鑑真> 鑑真は奈良時代の仏教に大きな影響を与えました。

問13 <答:ア> 平安時代に摂関政治という方法で天皇よりも権力をもったのが藤原氏であることは有名ですが、なかでも全盛期は道長・頼通親子の時です。問題の歌は道長のもです。ちなみに頼通は京都宇治に平等院鳳凰堂を建てたことで有名です。

問14 <答:空海> 空海は遣唐使で最新の仏教を学んで帰国します。

問15 <答:ウ⇒エ⇒イ⇒ア> 難問です。3代将軍源実朝が暗殺されて幕府が不安定なところで承久の乱が起きます。それを平定した幕府は御成敗式目を制定し、幕府の土台を固めます。そしてしばらく安定したかに思えたところで元寇が起き、またもや幕府政治は危機をむかえます。

問16 <答:曹洞宗> 禅宗で覚えておいてほしいのは道元の曹洞宗と、栄西の臨済宗です。

問17 <答:後醍醐天皇> 史料は二条河原落書といわれるものです。後醍醐天皇の政治は武士に大きな不満をいだかせました。

問18 <答:エ> 北山文化を代表する建築物は金閣です。この金閣を建てたのが3代将軍足利義満で1392年南北朝の合一に成功します。室町幕府の将軍を補佐したのは管領です。

問19 <答:エ> 平成26年に登録された日本の世界遺産に群馬県の富岡製糸場があります。

問20 <答:一向一揆> 浄土真宗は別名一向宗というところから、一向一揆が正解です。

問21 <答:ウ> 上知令を出したのは1840年代の天保の改革の時です。

問22 <答:ウ⇒イ⇒エ⇒ア> 版籍奉還の2年後に廃藩置県です。その後西南戦争が起きますが政府は鎮圧し、1880年代に伊藤博文が政治の中心となり、1889年大日本帝国憲法を發布します。

問23 <答:イ> 日本は国際連盟の常任理事国になります。日露戦争の講和条約はポーツマス条約です。小村寿太郎は日米通商航海条約を結び関税自主権を回復します

問24 <答:日米安全保障条約> 戦後占領状態だった日本がサンフランシスコ平和条約で独立したと同時にアメリカとの関係を強化しました。